

若者ら夏本番を満喫

内灘海水浴場が海開き

金沢市近郊の海水浴場として人気がある、内灘町の内灘海水浴場が二十四日、海開きした。浜には若者たちが繰り出し、夏本番を満喫していた。

浜辺で神事があり、内灘海岸海の家管理組



合の吉田幸二組合長（五）ら五人が頭を垂れる中、神職がおはらいし、シーズン中の無事故を祈願した。

組合によると、天候不順の影響で海開きは昨年より十日以上遅い。浜茶屋は昨年と同じ三軒が出店

水をかけ合って楽しむ若者たち＝内灘町の内灘海水浴場で

しており、吉田組合長は「不況の中でも、海水浴は近場で手軽に楽しめる。今春の内灘海岸の『恋人の聖地』認定も追い風になって

ほしい」と期待をかけた。

八月末までの期間中、平年並みの約十万人の人出を見込んでい

（山森保）